平成28年11月 1日
第 114 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 黒瀬和美
電話 972・5819

稲刈りの作業を見学 上郷小学校2年生

10月6日、元気いっぱいの上郷小学校2年生116名が、八方原の稲刈りを見学にやってきました。

予定では9月の終わりに行うことになっていましたが、雨のために延期になりこの日になりました。前日まで台風の影響もあって心配されましたが、無事に学習ができました。

「お米粒が稲になって何本に分かれるか」などと一緒に考えながらの学びの時間でした。質問もたくさん出て、答えるのに一苦労。「コンバインの値段はいくらか」「田んぼに水をやらないときがあると聞いたけれどどうしてか」などなど2年生とは思えない内容です。

「早く5年生になって田植えがしてみたい」山口農業高校での田植えが待ちきれません。



大型コンバインの稲刈り作業を見て、たくさんの質問。懸命に答える杉山さん



コンバインの仕事ぶりに注目

刈り取った株から稲穂が



9月に刈り取った稲の株から新しい芽が出て穂が実っています。「二番穂」などと呼ばれていますが、あまり食用には適さないということです。とはいえ鳥などにとっては格好の餌、収穫の終わった田んぼからのプレゼントかもしれません。

この二番穂を別の呼び方で「ひこばえ」とも呼ぶようで、漢字では「孫生え」とも書きます。切り株から芽が出たさまを言葉にしたのでしょう。冬になると、耕されてしまいますが、しっかり役に立ってもらいたいです。

この通信は http://www.harataco.org/sigeki/ で読むことができます

広い運動場だからこその悩み



救急車からドクターヘリに患者は慎重に運ばれる

先月号の小紙で、ソフトボール大会中の小郡中学校グラウンドにドクターヘリが降りたことをお伝えしました。実はこれは特別なことではなく、医療施設間の患者の緊急移動が日常的にあることなのです。

10月半ばの日中にも、緊急搬送が行われていました。そのたびに埃を抑えるために、消防署からポンプ車が来てグラウンドに散水し、安全を確かめながら慎重に作業が行われていました。緊急な手術や手当てなど、一刻も争うような状況では、ほかの何を置いても優先させる必要があります。

しかし、グラウンド周辺のお住まいの方にとっては、埃と騒音はあまりありがたいものではありません。事情は重々承知でも、「何とかならないか」という苦情が少なからずあるようです。

小郡中学校では、埃を抑えるために薬剤の散布を行ったり、新たな購入を検討したり苦慮しているようです。担当の話では「ドクターヘリの発着だけの問題ではない」とのこと、やはり大きなグラウンドから巻き上がる砂埃は想像以上のようです。

私たちの八方原地区は約30ヘクタールもの農地です。この面積がもしも作物などが何も無い「運動場」のような状態だったらどうでしょうか。たぶん学校のグラウンドの比ではない、砂埃があたりを覆うことになっているでしょう。

昔から変わらない田んぼの風景、実は私たちの生活をしっかり守ってくれていますね。

溢れ出るような菊の花弁

八方原の菊作りの名人といえば藤田貢さん夫妻です。今年も見事な花が咲き始めました。

ほぼ半年をかけてお世話をしてこられたその成果が、まさに花開いています。まだ花の中心が閉じた状態で、「これがしっかり開いたら見ごろです」と教えてくれました。

土作り、水遣り、肥料や薬剤での健康管理。話を聞くだけで気の遠くなるような作業の連続です。「何回やってもうまくいかないものでね、それがまた励みなんですよ」とのこと。



満開にはもう少しだけど見事な菊の花

地震に備えての訓練



10月21日午後事2時7分、グラグラを感じて驚かれた方も少なくないでしょう。多数のけが人や家屋被害、農作部被害となった鳥取県中部の地震でした。

報道では活断層とは、べつのところで発生したものとのこと。地震の予知の難しさと、その危険性を改めて考えさせられました。

小郡地域協育ネットでは、地域内小中学校が合同で、地震災害を想定した避難訓練を11月7日に実施します。同時に周辺住民のための一時避難訓練も実施します。非常時の場合、学校の体育館が避難所になったという想定です。

11月7日月曜日の午前11時に地震が起きたということで、自宅から避難所の上郷小学校（運動場）に集まって、所要時間や学校の建物配置などを頭に入れておく訓練です。防災の講座も開かれますので、興味のある方は当日上郷小学校にお越しください。